



そして、わが国沿岸での津波予測値を海外の津波観測データを利用して修正し、より適切な津波警報等を発表する津波評価・解析装置の整備等が完了し、新たな遠地津波データベースおよび津波評価・解析装置の運用を6月26日より開始しました。

(2) 遠地津波予測シミュレーションの改善として、津波予測データベースの結果に加え、地震データの解析から得られる震源の位置、断層面の向きや傾き等を使って行う津波シミュレーションの予測も利用し、より精度の高い警報を発表します。この改善により、例えばチリ沖で発生して日本列島へ襲来する津波の場合、約 2.5km の解像度で 30 時間程度から約 2 時間程度に短縮できます。

(3) 津波評価・解析装置を導入し、日本に津波が伝播してくるまでに海外で観測された津波の観測値とシミュレーション結果を比較し、より精度の高い津波予測に修正します。